

アントレプレナーシップ入門

—CASE の補足資料—

第9章 自分の考えを事業計画書にまとめてみよう

CASE ● ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング： 新規事業の発掘と事業計画書の効果

1 会社のホームページ

ジャパン・ティッシュ・エンジニアリングは非常に情報開示を積極的に行っている会社である。IR のあり方を勉強する意味でもまずはホームページをいろいろと見てほしい（各種 IR ランキングで優秀賞を受賞している）。

まずは社長の顔と会社の概要，商品の動向を動画で見てみよう。

<http://104ka.net/irmovie/14389/>

最新の動向はこちらのサイトで適宜，更新される。

http://www.jppte.co.jp/ir/top_message.html

さらに今後3年後までの中期経営計画を公表している。これまでの達成実績も載せている。しかも商品ごとの開発目標，売り上げ目標や経営の課題なども明確にしている。

http://www.jppte.co.jp/ir/library/index_milestone.html

リスク情報を特に注力して掲載している。有価証券報告書に記載している会社は多いが，会社のホームページにも明示しているところは少ないだろう。会

社にとって良い情報だけでなく、悪い情報、懸念情報なども相当なページを割いていることは評価できる。

<http://www.jppte.co.jp/ir/risks.html>

2 外部の情報

社長をはじめ幹部は学会、大学、マスコミなどで積極的に情報発信している。JETRO の情報はこちらから（PC によっては見られないこともある）。

<https://www.jetro.go.jp/tv/internet/2015/07/69345dd9db5dd408.html>

学生に対する施設見学や実習などの活動もしている。訪問する機会があれば見学してみよう。

<http://www.jppte.co.jp/social/index.html>

※著作権は著者に帰属します。

※私的使用および、大学等の講義・ゼミ等の教育目的に限って使用できます。